

会 議 録

| | |
|------|---|
| 会議名 | 第10回富士見市歯科口腔保健推進委員会 |
| 開催日時 | 平成26年12月19日（金）午後1時30分～3時10分 |
| 開催場所 | 富士見市立健康増進センター 研修室 |
| 出席者名 | 委員：大渡 廣信委員長、三木 とみ子副委員長、是永 國彦委員、 長堀 厚子委員、苗代 明委員、二川 明子委員、西 和江委員、 広瀬 幸樹委員、宮 陽一委員 事務局：久米原健康増進センター所長、銘苅健康増進センター副所長、 相原健康づくり支援係主査、樋口主任、山口 |
| 欠席者名 | 委員：荒木 悦二委員、加治 茂幸委員、富岡 明子委員 |
| 傍聴者 | 0名 |
| 次第 | 1 開会 2 委員長あいさつ 3 審議 4 その他 5 閉会 |
| 議事内容 | <p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ （富士見市歯科口腔保健推進委員会条例第6条2項に基づき、委員の過半数の出席により本日の委員会の成立について報告）</p> <p>3 審議</p> <p>（1）仮称 富士見市歯科口腔保健推進計画（案） 第2章～第4章について</p> <p>■本日の議事進行について 委員の手元には、最終章まで記載された「仮称 富士見市歯科口腔保健推進計画（案）」が配布されている。本日の委員会では、前委員会での審議により加筆修正のあった箇所と新たに提示された箇所について、審議・承認を行いたい。 本日は、前回より加筆修正のあった『第2章 2 ライフステージ別でみた現状と課題』の「乳幼児期」、『第3章 2 ライフステージ別目標値』の順に審議・承認をすすめていく。その後、本日提示された『第4章 計画推進と評価』について審議を行う予定である。 計画（案）策定にむけ、審議・承認のご協力をお願いしたい。</p> |

■第2章 富士見市の歯科口腔保健に関する現状と課題

2 ライフステージ別でみた現状と課題

(2) 乳幼児期

・事務局より前委員会からの加筆修正箇所について説明する。

| | |
|-----|---|
| 委員長 | 甘い飲み物の摂取とむし歯の関連性の説明文の中に『脱灰』という用語があるが、市民にはわかりづらいと思う。市民向けに記載するなら、「むし歯ができやすくなる」くらいの方がよいかもしれない。 用語解説について、資料編に記載したとのことだが、不明な用語が出てきた際に資料編を見るか疑問を感じた。委員のご意見を伺いたい。 |
| 委員 | 『脱灰』とはどのような状態か。 |
| 事務局 | 歯の表面を覆うエナメル質などからミネラル分が溶け出す状態のことである。エナメル質のミネラル分は食べ物などからむし歯菌が作りだす酸によって溶け出し、この状態が続くとむし歯となってしまう。 |
| 委員 | 説明が長い文章でなければ、今の説明のような例えば「エナメル質のミネラル分を溶かしてしまうのでむし歯ができやすくなる」など、そのまま記載してみてもどうか。 文章の表現であるが、「むし歯をできやすくします」という表現は適切ではないように思う。「むし歯ができやすくなります」という表現ではどうか。 |
| 委員 | 「むし歯になりやすくなります」ではどうか。 |
| 委員 | その表現だと前後の文章から『なる』という表現が重なるため適切ではないように感じる。 |
| 委員 | 「むし歯をできやすくする」という表現だが、先程他の委員が表現している際に「むし歯ができやすくなります」と表現していたため、助詞については『を』ではなく『が』が相応しいと思う。 |
| 委員 | 巻末に用語解説としてまとまっているのは見やすいと思うが、用語解説があるということがわかるように、解説を要する用語に*（アスタリスク）をつけるのはどうか。 |
| 事務局 | 事務局での検討段階でも同様の意見が出たが、解説を要する用語は30語以上になり、全てに*をつけると計画の随所に出てくるため、計画自体が見にくくなるということが懸念され、手元の資料のように巻末に記載している。 |
| 委員 | *1など、解説が必要な用語の出た順番に番号をふってみてはどうか。 |
| 事務局 | 解説を必要とする用語全てに*を入れると、同じ用語が複数回使用されていることもあり、計画自体が非常に見にくくなってしまうことが想定される。 |
| 委員 | 1番初めに使用される用語に*をつけるのはどうか。 |
| 委員 | 1番初めに使用される用語に*をつけた場合、通読しないと利用しづらいというデメリットもあるように感じる。 |
| 委員 | 健康増進計画に係る意識調査のアンケートの中で、専門用語などについてはアンケート内、アンケート用紙下部に記載してあったように思うが、以前提示のあった通り計画の下部に記載する表現では煩わしいか。 |

| | |
|--|--|
| 委員 | どこかに『歯科の専門用語の解説は巻末に記載しています』という説明文を記載してみてくださいどうか。 |
| 事務局 | 「資料編 6 用語解説」については、目次として記載している。この目次の部分に凡例のような文章を記載させていただくのはどうか。 |
| 委員 | 目次に凡例のような文章が記載してあればよいと思う。*は全てにつけたら煩わしいか。 |
| 委員 | *は全部につけると見にくくなるため、数字などをつけないものを最初に使用する解説を必要とする用語につけるがよいと思う。 |
| 委員 | 目次に記載する凡例のような文章にも、『*についての解説を載せています』などと記載してみるとわかりやすくなると思う。 |
| 委員長 | 審議した内容をもとに、事務局には以下のように修正を行ってもらおう。なお、修正文面については、事務局に一任する。 <ul style="list-style-type: none"> ・図表「甘い飲み物をほぼ毎日飲んでいますか」中の説明文、『むし歯をできやすくします』を『むし歯ができやすくなります』に修正する。 ・解説を要する用語については、最初に使用する用語に*をつけ、目次「資料編 6 用語解説」に*の説明と凡例を記載する。 <p>本項の趣旨については、審議いただいた内容で大きな訂正がなかったため、本項 乳幼児期についてご承認を伺いたい。ご承認いただける委員は挙手をお願いします。</p> |
| 委員一同 | (一同挙手) |
| ■第3章 目標に向けて 2 ライフステージ別目標値 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より前委員会からの加筆修正箇所について説明する。 | |
| 委員長 | 前委員会で審議いただき加筆修正した内容で質疑はないか。 |
| 委員一同 | (質疑なし) |
| 委員長 | 本項 ライフステージ別目標値についてご承認を伺いたい。ご承認いただける委員は挙手をお願いします。 |
| 委員一同 | (一同挙手) |
| ■第4章 計画推進と評価 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、計画の公表・周知、推進体制、評価について説明する。 | |
| 委員長 | 事務局の説明について質疑はないか。 |
| 委員 | 計画の評価について、計画期間が10年と設定されているが、計画策定10年後に、この計画の評価に際して調査を行うのか。 |
| 事務局 | 計画期間10年間のうち、平成32年度(2020年)に中間評価を考えている。本計画策定の1年後に健康増進計画の策定を予定している。全身の健康を考えた時に、歯の健康についても全身の健康の一部として考えられるこ |

| | |
|-----|---|
| | <p>と、他自治体でも歯科の計画を健康づくりの総合的な施策である健康増進計画の1分野として策定しているところがあることから、本市の歯科計画についても健康増進計画と足並みを揃えて評価を実施し、健康づくりの総合的な施策である健康増進計画の一環として考えていければと考えている。</p> <p>健康増進計画では、策定にむけ今年度市民意識調査を実施しており、中間評価時にも実施予定であることから、歯科計画についても中間評価時に歯科の健康づくりにまつわる設問を設け、より広く市民の健康状態を把握しながら評価を行っていきたいと考えている。</p> |
| 委員 | <p>計画期間の10年間の中に、計画・実行・評価・見直しが入っているのか。</p> <p>実行については、例えば学校や保育園など各ライフステージの担当課に進めてもらい、中間評価は健康増進センターが行うということか。その場合、計画の実行についてのケア体制はどうなっているのか。</p> |
| 事務局 | <p>進捗状況については、本委員会を毎年開催し、委員の方々に確認・検討いただいた内容を各担当課へフィードバックしていきながら、計画を推進していければと考えている。そのため、計画期間10年間の中には、計画・実行・評価・見直しが入っているものと考えていただきたい。</p> |
| 委員 | <p>ライフステージの乳幼児期については、主幹となる担当課が健康増進センターだと思うが、学齢期については主幹となる担当課が教育委員会になると思う。計画の推進にあたり連携は取れているのか。</p> |
| 事務局 | <p>庁内検討委員会の構成委員に教育委員会の関係部署が所属しているため、その中でそれぞれの担当と情報共有などの連携が取れるものと考えている。</p> |
| 委員 | <p>計画（案）P8の計画期間の図表中、平成32年度（2020年）に『計画見直し』という記載があるが、先ほどの話ではその年に中間評価を行うとのことだったので、ここに『中間評価』を追加記載し、『中間評価・計画見直し』と併記した方がよいと思う。</p> |
| 事務局 | <p>提案の通り修正させていただく。</p> |
| 委員 | <p>P64計画のプロセス図を見ると、計画・実行・評価・見直しという風にPDCAサイクルを一連のプロセスの過程として図式化しているが、先程説明のあった計画期間10年間の中にはこの図でいう計画のみを表しているのか、それとも実行や評価も含んでいるのか。</p> |
| 事務局 | <p>計画期間の10年間の中に、計画・実行・評価・見直し全てのプロセスが入っているものをご理解いただきたい。</p> |
| 委員 | <p>この計画のプロセスはどのくらいの期間で行っていくのか。</p> |
| 事務局 | <p>今後、毎年実施するのが計画の進捗状況の確認・検討であるが、その際に計画の修正が必要であると判断された場合には、適宜見直しをしていく必要が出てくると思う。</p> |
| 委員 | <p>新たに委員会を作るのか。</p> |
| 委員長 | <p>本委員会を開催し、進捗状況の確認・検討、適宜必要時の見直しを行っていく予定である。一般的な目標として、長期・中期・短期目標など期間により目標</p> |

| | |
|------------|--|
| 事務局 | <p>項目や目標値が様々であり、今回の中間評価については前期計画の評価になる。</p> <p>今回計画内で設定している目標値などについては、長期的に達成したいものであり、10年後を目標指標達成年度と設定している。</p> |
| 委員長 事務局 | <p>短期目標はないのか。</p> <p>短期目標については、現状では設定していない。</p> |
| | <p>本計画では、長期目標である10年後の目指すべき目標値を設定している。今後の本計画の見通しとしては、総合的な健康施策としての健康増進計画の策定を来年度予定していることから、評価を健康増進計画とあわせて行えるよう平成32年度(2020年)を中間評価・見直し時期とし、それ以前を前期・それ以降を後期と設定している。中間評価・見直し時期に健康増進計画に係る市民意識調査を予定しており、この結果を踏まえ本計画についても全体的に見直しを行っていく予定である。</p> <p>ただ毎年本計画が施策の推進により、目標値の達成にむかっているのか否かについては、進捗状況を本委員会で管理し、施策の妥当性や方向性について検討していく必要があります。その結果により具体的な施策を実施している担当課へフィードバックし、その状況により中間評価においてどのように計画を見直していくか検討していくところに、この委員会の意義の大きさがある。</p> |
| 委員長 | <p>富士見市は他の担当課との連携協力体制が取れていると思うが、本計画の進捗状況の管理・検討によるフィードバックというところで、今後もこの委員会の取り組みが重要であると実感した。</p> |
| 委員 | <p>推進体制の中に「市民を取り巻く地域、歯科医院などの関係機関、行政などが、一体となって取り組んでいく必要があります」という文面があるが、学齢期の施策が多く重要であることから、関係機関の1つとして学校があるのではなく、学校などの教育機関を頭出しで併記した方がよいと思う。</p> <p>計画体制のイメージ図についても、絵での表現はインパクトが強く、また教育機関は将来の基礎づくりを培う場所として意義が大きいと思うので、教育機関や学校のイラストを入れた方がよいと思う。</p> |
| 事務局 | <p>本計画では、教育機関について、市の財源により運営しているところについては行政の1機関として記載している。学齢期の施策での関係機関それぞれの取り組みについても、行政という項目の中に小学校・中学校・特別支援学校・学校教育課などの教育関係機関を記載しており、本章についても頭出しをせずに行政機関の一部として記載している。</p> |
| 委員 | <p>わかりづらい気がする。</p> |
| 委員長 | <p>行政と学校は少し違う気がするが。</p> |
| 委員 | <p>教育委員会自体は行政の中に入っており、学校は教育委員会の方針に沿って運営を行っているところがある。そういう意味では学校自体が行政の中の一括りにはなっているが、現場としてはそう簡単に区分できないところがある。</p> |
| 委員 | <p>文面や計画体制のイメージ図の中に、学校などの教育機関を頭出しで記載す</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>ることに不都合があるのか。</p> <p>文面・計画体制のイメージ図の記載機関については、条例内で責務が定められている市、歯科医療業務従事者、保健等業務従事者等、市民の4つについて抜き出して記載している。</p> |
| 委員 | <p>計画体制のイメージ図イラストの「行政」については、役人のイラストだと思うが、これでは役所をイメージしてしまう。</p> |
| 委員 | <p>一般の市民は「行政」から「学校」はイメージできないと思う。</p> |
| 委員長 | <p>「行政」と「学校」のイラストどちらも入れればいいのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>「学校」は条例上では、「行政」の括りとなっていることをご理解いただきたい。「行政」と「学校」の併記ではどうか。</p> |
| 委員 | <p>計画体制のイメージ図「行政」という文言の後ろに「小中学校を含む」という文言を併記してみたらどうか。</p> |
| 委員 | <p>条例では、保健等業務従事者等の定義について、「保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育その他の関連分野に関する業務に従事する者及びこれらの業務を行う機関という」と記載してあるが、この「教育」という部分に学校が入るのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>市立学校については、市の財源により運営していることから行政の1機関としている。ご指摘いただいた「教育その他の関連分野」については、市の財源以外で運営している私立学校や塾などの教育機関を表している。重複になるが、市の財源により運営している小学校、中学校、特別支援学校については、行政・市の機関としていることをご了承いただきたい。</p> |
| 委員 | <p>歯科口腔保健の推進のためには、教育機関をはじめとした多様な機関の連携が重要である。目標達成のためには、各ライフステージの施策実施の核となる機関がわかりやすい方がよいと思う。学校を頭出して記載することに不都合がなければ、この計画体制のイメージ図に抜き出して記載した方がよい。</p> |
| 事務局 | <p>計画体制のイメージ図「行政」という文言の後ろに「小中学校を含む」と併記し、イラストについては学校のイラストとさせていただく。</p> |
| 委員 | <p>「行政」という言葉が条例に入っていないため、条例に則って「市」という表現にした方がよい。それだと、市立学校が含まれるイメージを持ちやすくなると思う。</p> |
| 事務局 | <p>「行政」を「市」に置き換えて記載した場合、市民の受ける印象はどのようなものとなるだろうか。</p> |
| 委員 | <p>計画自体を市が作っているので、伝わると思う。</p> |
| 事務局 | <p>言葉として「行政」とした方が、より市が推進するイメージがあるように感じるが、委員のご意見を伺わせていただきたい。</p> |
| 委員 | <p>「行政」という言葉では、施策を推進するイメージは強いが、事務的な印象があり計画の実施に結びつきづらい印象がある。「学校」という併記があれば、計画実施機関としての意味合いを強く感じるので、計画に実施も含まれるイメージが強くなるように思う。</p> |

| | |
|---------|---|
| 委員事務局委員 | <p>健康増進センターは、この場合どこに入るのか。</p> <p>「行政」である。</p> <p>「行政」に健康増進センターや学校が入るのは、やはりぴんとこない。「行政」というと市役所の市民課のような部署を思い浮かべることが多いと思うので、言葉での表現を「市」としてイラストで市役所と学校の建物を表現するのがよいと思う。</p> |
| 委員長 | <p>計画体制のイメージ図内の「保健等業務従事者等」の中に、健康増進センターが入るのか。</p> |
| 事務局 | <p>健康増進センターは「行政」の中に属し、「保健等業務従事者等」には市の財源以外で運営している病院などの保健関連分野が入る。</p> <p>計画体制のイメージ図の表現については、「行政」と記載してある文言を「市」に修正し、先程ご意見をいただいた通り学校・市役所・保健センターのイラストを掲載するのでよいか。</p> |
| 委員 | <p>「行政」という言葉は馴染みがないので、「市民」という表現があることから、「行政」については「富士見市」という文言で記載し、括弧書きで学校や健康増進センターを記載するのはどうか。</p> |
| 委員事務局 | <p>健康増進センターも記載した方がよいと思う。</p> <p>健康増進センターは市の財源で運営している施設であり、市内の部署の1課でしかないので、学校と併記して抜き出して記載する必要はないと思う。</p> |
| 委員 | <p>「市民」は人であり、「歯科医療業務従事者」は歯科医師や歯科衛生士が主である。「市」というのは、市役所や学校という全体的な組織をイメージしやすいので建物のイラストを入れるとよいように感じる。</p> |
| 委員長 | <p>審議した内容をもとに、事務局には以下のように修正を行ってもらう。なお、修正文面・イラストについては、事務局に一任する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画体制のイメージ図内、「行政」という表記を「富士見市」とし、括弧に主な機関や組織である「市役所・小中学校を含む」等の文言を追加する。 「行政」を表現するイラストとして、学校・市役所に関連するイラストを追加する。 |
| 委員一同 | <p>本項の趣旨については、審議いただいた内容で大きな訂正がなかったため、本章についてご承認を伺いたい。ご承認いただける委員は挙手をお願いします。</p> <p>(一同挙手)</p> |
| 委員長 | <p>計画(案)全体について審議が終了したところで、本計画の名称についてもご意見・承認を伺いたい。</p> <p>素案では『仮称 富士見市歯科口腔保健推進計画(案)』として示しているが、計画名称については、素案の名称をそのまま用い、『富士見市歯科口腔保健推進計画』でよいと考えるがいかがか。</p> |

| | |
|-------------------|---|
| 委員 | 行政の計画なのでこのような名称になることは理解でき、適当と思うが、広く市民に周知することを考えると、もう少しわかりやすく印象が柔らかくなるように、例えばサブタイトルのようなものをつけてみてはどうか。 |
| 事務局 | 他の自治体では、そのような工夫をしているところはあるか。 |
| 委員 | 計画により主要なテーマが決まっている自治体については、そのテーマに沿ったサブタイトルをつけ、市民に広く周知できるよう工夫しているところがある。 |
| 委員 | 例えば「生涯の健康は口腔から」はどうか。 |
| 委員 | 歯の健康が全身の健康にも影響するというイメージを啓発しようとするれば、「生涯の健康づくりをめざして」などもよいと思う。 |
| 委員長 | 「生涯の健康づくりの推進のために」または、「生涯にわたる健康づくりのために」などはどうか。 |
| 委員 | 副題という点、例えば高齢者保健福祉計画がゴールドプランと言われている。愛称のような、市民に伝える噛み砕いた名称があるとよいと思う。 |
| 事務局 | 委員の方それぞれに副題についての考えがあり、また本日審議内容として新たに提案された議題であるため、考えがまとまっていない委員や欠席された委員もいることから、各委員には、副題について数日検討していただく期間を設けさせていただき、後日文書にて副題について意見を伺わせていただきたいと思います。委員の方々から提出いただいた副題については、後日委員長と相談させていただき、最終案を決めていきたいと考えるがいかがか。 |
| 委員長 | 副題については、市民に周知する重要な部分であるため、事務局より提案のあった方法で、副題を募りたいと思う。委員には、副題についてご検討いただきたい。なお、決定した副題については、後日事務局より、計画書の送付などにより委員へ報告することとする。 |
| (2) 今後のスケジュールについて | |
| 委員長 | 副題については、委員に案を募り、事務局と協議し最終案を決定するが、本計画(案)の趣旨については、委員に決議をいただき、本日審議が終了した。委員会で審議いただいた本計画(案)をもって、今年度中に市長へ答申を行う予定である。 |
| 事務局 | 本委員会の今後のスケジュールとしては、次年度に委嘱と進捗状況の確認・検討のための委員会開催を予定している。現委員の任期が平成27年7月31日で終了となり、現委員への市長からの諮問内容についても審議が終了しているため、現委員任期中の委員会の開催は、喫緊の議案があった場合のみとなる。委員の方々には、今後のスケジュール等についてご理解いただきたい。 |
| 4 その他 | |
| 委員 | 喫緊の議案がない場合は、今回の委員会が現委員の任期中最後の委員会になるものと理解した。施策の進捗状況の確認・検討については次期委員会での議題となるため、本委員会でも大まかでよいが、平成27年度から各ライフステージにおける新規・重点的に取り組む施策としてどのようなものがあるのか伺い |

| | |
|-------------|---|
| <p>事務局</p> | <p>たい。</p> <p>予算が決定していないので案の段階ではあるが、妊娠期・胎児期では記載している施策を継続実施も含め、実施したいと考えている。乳幼児期では、3歳児健康診査でのフッ化物利用事業は平成28年度以降に推進していくが、それ以外の施策については継続実施したいと考えている。学齢期では、主幹である教育委員会と検討・連携しながら進めていきたいと考えている。成人期では、成人歯科健診の対象年齢の拡充は平成28年度以降に推進していくが、それ以外の施策については継続実施も含め、実施したいと考えている。高齢期では、記載している施策を継続実施していきたいと考えている。障がい者・要介護者では、主幹である障がい福祉課・高齢者福祉課と検討・連携をしながら進めていきたいと考えている。</p> <p>先程もお話したが、現状では予算が決定していないので、施策の進捗状況の確認・検討については、次期委員会の委員にお願いするところである。</p> |
| <p>5 閉会</p> | |